



内外トランスライン株式会社
International Freight Forwarder

IR REPORT

第41期 第2四半期株主通信

2020年1月1日～2020年6月30日



重要な社会インフラである国際輸送を担うことで 社会的責任を果たし事業拡大に取り組んでまいります

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは当連結会計年度が初年度となります第4次中期経営計画（2020年1月～2022年12月）に基づき、国際総合フレイトフォワードラーとしてさらなる成長を目指す取組みを強化してまいります。

2020年度上半期の市場動向

世界経済は、各国で実施されていた新型コロナウイルスへの感染防止対策が徐々に緩和され、経済活動が再開された国や地域があるものの、収束が見通せない状況が続いております。日本の輸出額が大きく落ち込んだ影響や原油価格の下落で、輸出入金額（貿易統計）は前年比マイナスとなり、世界的な景気後退による需要の減少や、企業の設備投資を控える動きから、輸出の回復には時間を要すると見込まれます。



代表取締役社長

常多 晃

当第2四半期の業績

単体においては国内の経済活動が減退した影響で、主力の輸出混載貨物の取扱量が減少し、売上高は4.5%減少し減収減益となりました。

国内子会社においては、輸入食材等を主力とするフライングフィッシュ株式会社が、巣ごもり消費の影響で輸入食材の取扱が大きく増加し、グループ業績に貢献しました。海外現地法人においては、韓国の倉庫事業が安定して推移した反面、多くの国でロックダウンが実施されたため経済活動が制限を受け、減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,758百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は613百万円（同14.6%減）、経常利益は639百万円（同13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は439百万円（同12.5%減）と、減収減益となりましたが、従来より取り組んでまいりました海外展開やフォワーディング事業が奏功し、最小限の落込みに留めることができました。

■ 特集：当社は創立40周年を迎えました

2020年5月、当社はおかげさまで創立40周年を迎えることが出来ました。

ここにこれまでの当社グループのあゆみをご紹介します。

1980

1980年～1989年

創業及び事業の基盤形成期

1980年5月、海運仲立業を営む目的で設立いたしました。当時はコンテナが海上輸送の主流になりつつある時期で、当社のビジネスである一つのコンテナに満たない複数のお客様の貨物を詰め合わせて輸送する「混載」は新しい業態でした。その後、安定的な運航スケジュール、適正な運賃やきめ細かいサービスを強みにNVOCC^{*}として販路を切り拓いていきました。

※NVOCC: Non Vessel Operating Common Carrier
=船舶などの輸送手段を自社で保有しない海上輸送業者

1990年～1999年

国内・海外ネットワーク形成期

アジア諸国の経済発展に伴い、海上混載輸送サービスのニーズが高まる中、当社の貨物取扱量も増加。こうした需要拡大を受け、国内では神戸、東京を皮切りに名古屋、福岡等に支店・営業所を開設いたしました。海外では1997年、シンガポールに当社初の現地法人を設立いたしました。



▲シンガポール現地法人事務所

2000年～2009年

海外ネットワーク拡充期

ASEAN諸国と中国における輸出入急増を背景に海外現地法人の設立を加速化。2000年からの10年間で、タイ、インドネシア、中国、アメリカ、韓国、香港の合計6社の現地法人を設立いたしました。一方、多航路・多頻度サービス、業界トップレベルのITシステムを駆使した貨物追跡情報の提供など他社に出来ないサービスを展開。積極的な海外進出と顧客サービスの差別化により成長を続け、2008年に独立系NVOCCとして初めて東京証券取引所市場第二部上場を果たしました。



▲東証二部上場セレモニー

2010年～現在

事業構造変革期～国際総合フレイトフォワードナーへ

日本の輸出型経済構造の変化に対応すべく、事業構造変革に着手。主力事業である輸出混載に加え、輸入分野の強化に取り組むほか航空輸送もスタートし、サービスの領域を拡大いたしました。こうした事業構造変革により当社グループは更なる成長を遂げ、2015年には東京証券取引所市場第一部の銘柄指定を受けました。同年には北東アジアのハブ港である韓国・釜山に内外銀山ロジスティクス株式会社を設立。定温倉庫や危険物倉庫を備える同社の倉庫は多機能倉庫としてお客様に高次元の輸送サービスを提供しています。

創立から40周年を迎えた今、当社グループは国際総合フレイトフォワードナーとしてお客様のベストパートナーとなるべく更なる前進を続けています。



▲釜山倉庫(内外銀山ロジスティクス)

2020

連結財務指標

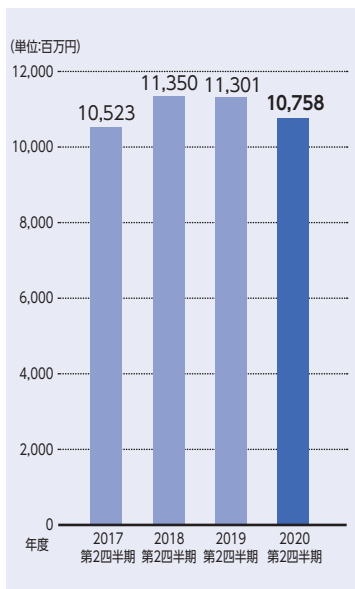
■ 当四半期の業績 (2020年1月～6月)

売上高

10,758 百万円

前年同期比

4.8%減



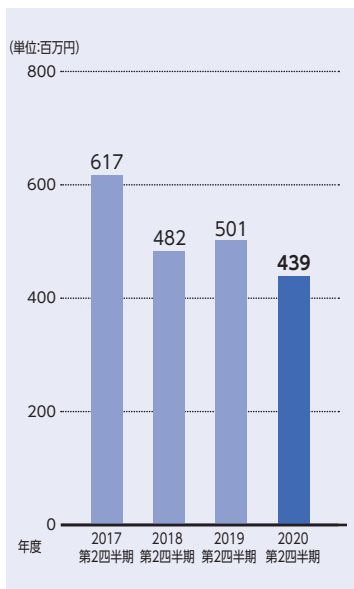
売上高は、単体においては輸出混載貨物の減少をプロジェクト貨物への取組み等でカバーしました。海外子会社ではロックダウンの影響でシンガポールやインドの現地法人が営業活動の制限を受けた一方、いち早く経済活動を再開した中国では日本向けマスクの輸出拡大等の売上高増加に努めました。

親会社株主に帰属する 四半期純利益

439 百万円

前年同期比

12.5%減



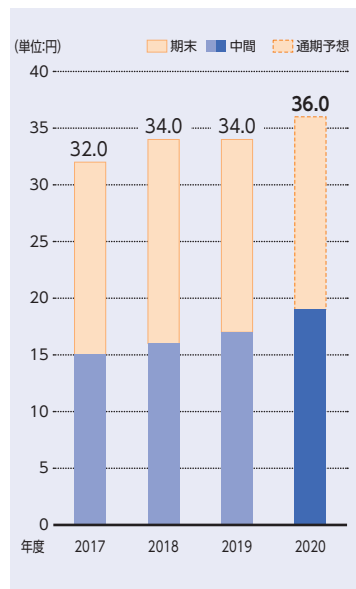
セグメント別利益では、国内子会社の株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは渡航制限による航空貨物の減少に苦戦しましたが、フライングフィッシュ株式会社は欧州からの輸入食材の取扱を増やしました。国内の営業利益は346百万円(25.4%減)、海外の営業利益は283百万円(6.3%減)となりました。

1株当たり配当金

19.0 円

前年同期比

2.0円増



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当第2四半期の配当金は普通配当17.0円に創立40周年記念配当2.0円を加えた19.0円とし、通年では計36.0円とする予定です。

■ キャッシュ・フロー指標

(単位：百万円)

	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	710	885	745	702
投資活動による キャッシュ・フロー	80	△236	△325	△35
財務活動による キャッシュ・フロー	△154	△164	△211	△220
現金及び現金同等物の 四半期末残高	5,101	5,449	5,840	6,656

■ 資産関連指標

(単位：百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 第2四半期
総資産	10,107	10,967	12,145	12,000
純資産	7,974	8,606	9,484	9,589
自己資本比率 (%)	74.2	73.8	72.1	73.8

■ 1株当たり指標

(単位：円)

	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	63.63	49.76	51.68	45.17

会社概要

会社概要

2020年6月30日現在

社 名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)
設 立	1980年 5月 1日
代表取締役社長	常多 晃
従 業 員 数	637名 (連結)
資 本 金	243,937,240円
上 場 市 場	東京証券取引所市場第一部
加 入 団 体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会 (JIFFA) 日本貿易振興機構 (JETRO) 大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所 横浜商工会議所 福岡商工会議所 北九州商工会議所 東京通関業会 横浜通関業会

役員一覧

2020年6月30日現在

取 締 役 会 長	戸 田	徹
代表取締役社長	常 多	晃
代表取締役専務	大 川	友 子
常 務 取 締 役	小 嶋	佳 宏
常 務 取 締 役	戸 田	幸 子
取 締 役	田 中	俊 光
取 締 役	三 根	英 樹
取 締 役	東	宏 尚
社 外 取 締 役	武 井	眞 哉
社 外 取 締 役	伊 藤	嘉 章
常 勤 監 査 役	長 谷 川	豊 朗
社 外 監 査 役	川 崎	裕 朗
社 外 監 査 役	敏 森	廣 光

株式の状況

2020年6月30日現在

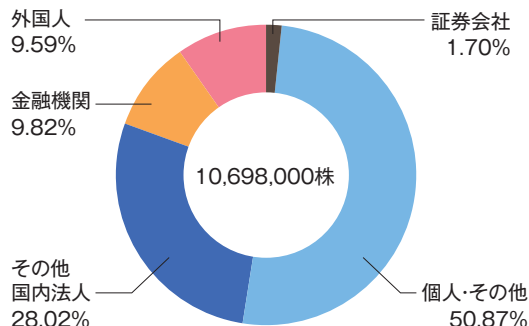
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,698,000株
株主数	11,699名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
合同会社エーエスティ	2,121	21.81%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	400	4.11%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG /JASDEC/ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	355	3.66%
内外トランスライン従業員持株会	355	3.65%
戸田 徹	323	3.33%
株式会社ときわそば	250	2.57%
日章トランス株式会社	232	2.38%
トランコム株式会社	220	2.26%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	215	2.21%
常多 晃	160	1.65%

(注) 当社は、自己株式969,971株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除しております。

所有者別分布状況



国内事業所

2020年6月30日現在

本社

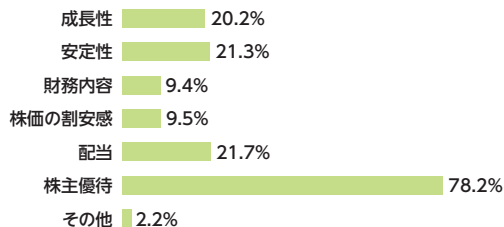
(大阪市中央区備後町二丁目6番8号)
サンライズビル5階

東京支店
横浜支店
名古屋支店
神戸支店
福岡営業所

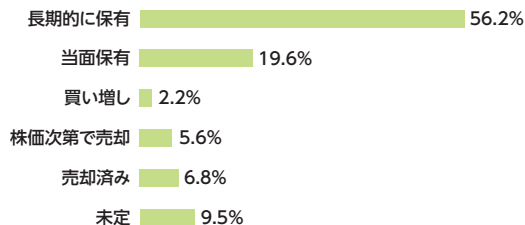
株主アンケート 結果のご報告 2020

2019年12月期株主優待お申し込みハガキで実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の87.9%に当たる10,801名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果の一部をご報告させていただきます。

質問1 ▶ 当社株式の購入理由(複数回答)



質問2 ▶ 今後の方針



株主様の声 (一部)

- ESGを意識した安定的経営を期待しております。(50代男性)
- IR REPORTの写真が良く、気に入っています。(40代女性)
- 事業内容、同業他社に対する優位性がよくわからないのでHPなどで説明してほしい。(50代男性)

優待品ご紹介

ご好評をいただいております株主様ご優待。前回(2019年12月期)、特に人気の高かった商品をご紹介します。

1,500円相当分



福山製麺所「旨麺」



極バウムセット



シェフの作ったビーフカレー

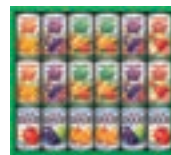


トップセレクトコーヒーギフト

2,500円相当分



美味罐製 海鮮彩



カゴメフルーツ+野菜飲料ギフト



新潟県産
かしひかり特別栽培米3kg



牛すじどて煮

保有株式数に応じて商品(カタログより選択)または社会貢献団体へ寄付

◆100株以上200株未満 1,500円相当 ◆200株以上4,000株未満 2,500円相当 ◆4,000株以上 5,000円相当

株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。

基準日：定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金を行う場合 6月30日

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<https://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株

上場取引所：東京証券取引所市場第一部

証券コード：9384

お問合せ先：〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

お取扱店：みずほ証券

本店および全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
でもお取扱いいたします。

みずほ信託銀行

本店および全国各支店(※)
(※)トラストラウンジではお取扱いできませんので
ご了承ください。

未払配当金のお支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※)
みずほ銀行 本店および全国各支店

(みずほ証券では取次のみとなります)
(※)トラストラウンジではお取扱いできませんので
ご了承ください。

お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、上記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。



表紙写真：神戸港

神戸港は、日本の主要な国際貿易港のひとつとしてスーパー中枢港湾の指定を受けています。奈良時代には港が整備されていたといわれ、国内の東西航路や大陸との交易の拠点として人々の生活を支えてきました。1967年に日本初のコンテナターミナルを備えた摩耶埠頭が竣工するなど時代を先取りした港湾整備を行い、世界有数の国際貿易港として栄えました。1995年の阪神・淡路大震災では大きな被害を受けましたが、わずか2年で復旧。2019年のコンテナ取扱量は287万TEU。クルーズ船も多く来航し、メリケンパーク、ハーバーランドなど観光地としても人気の高い港です。

内外トランスライン株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町二丁目6番8号 サンライズビル5階
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4713

